

事務事業名		干潟造成事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業 <input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業		
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間		
	施策名	19 地域活力を担う水産業の振興				
	基本事業名	01 漁業資源の確保		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 — 年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 ↓ 24 年度～ 28 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		
根拠法令				予算科目 会計 01 款 06 項 03 目 03 事業 33		
所属	部課名	農林水産部 水産課		全体計画(※期間限定複数年度のみ) 総投入量(千円) 事業内訳 国庫支出金 都道府県支出金 28,800 地方債 その他 一般財源 19,200 事業費計(A) 48,000 正規職員従事人数 2 延べ業務時間 1,000 人件費計(B) 4,000 トータルコスト(A)+(B) 52,000		
	課長名	千葉 英彦				
	係名	振興係	電話			27-3111
	担当者	羽根川 恵一	内線			374
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 干潟は、沿岸水域に生息する生物の育成場であるとともに、水産資源の増大と沿岸域の漁場環境改善や生態系の保全に大きな役割を果たしてきた。大船渡湾内においては、古くから天然干潟によるアサリの漁獲が行われており、漁業者の所得安定に寄与してきた。 しかし、平成23年3月11日の東日本大震災により、地盤沈下したため、干潟としての適正な環境が失われた。このため、平成24年度から「水環境整備事業」として、大船渡湾内の適地において、干潟造成に向けた調査事業を実施し、基礎データの取得、今後の干潟造成事業化の基本方向の検討を進めてきた。 平成25年度以降は、引き続き調査事業を行いながら、新たに干潟整備を行うもの。 【事業概要】 ・事業年度/平成24年度～平成28年度 ・事業規模/干潟造成工 A=2ha						

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 東日本大震災により湾口防波堤が損壊、海岸部が沈下し干潟が水没するなど、湾内の生息環境に変化が生じたため、湾内環境の再調査を行うとともに、今後の増殖場整備に向けた設計を実施した。 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 昨年度実施した調査及び実施設計により、今年度より湾内の干潟造成を実施する。	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 名称 単位 ア 調査箇所数 箇所 イ ウ
	② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 湾内の干潟漁場(10箇所)及び漁業者
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 湾内のアサリ資源が安定的に確保され、漁業者の所得向上、安定化が図られる。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 単位 サ 調査対象漁場のアサリ生息密度 個/m ² シ ス
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 漁業資源が確保される。	

(2) 総事業費・指標等の推移																																																																																																																																																																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>年度</th> <th>23年度(実績)</th> <th>24年度(実績)</th> <th>25年度(実績)</th> <th>26年度(目標)</th> <th>27年度(目標)</th> <th>28年度(目標)</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>単位</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">投入量</td> <td rowspan="6">事業内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td>22,680</td> <td>30,000</td> <td>120,000</td> <td>114,000</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td>15,120</td> <td>20,000</td> <td>80,000</td> <td>76,000</td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>千円</td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>37,800</td> <td>50,000</td> <td>200,000</td> <td>190,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td>人</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td>時間</td> <td></td> <td></td> <td>200</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>人件費計(B)</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>800</td> <td>800</td> <td>800</td> <td>800</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>38,600</td> <td>50,800</td> <td>200,800</td> <td>190,800</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑤活動指標</td> <td>ア</td> <td>箇所</td> <td></td> <td></td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑥対象指標</td> <td>カ</td> <td>m²</td> <td></td> <td></td> <td>20,000</td> <td>20,000</td> <td>20,000</td> <td>20,000</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑦成果指標</td> <td>サ</td> <td>個/m²</td> <td></td> <td></td> <td>20</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)			単位							投入量	事業内訳	国庫支出金	千円						都道府県支出金	千円			22,680	30,000	120,000	114,000	地方債	千円							その他	千円							一般財源	千円			15,120	20,000	80,000	76,000	事業費計(A)	千円		0	0	37,800	50,000	200,000	190,000	人件費	正規職員従事人数	人			2	2	2	2	延べ業務時間	時間			200	200	200	200			人件費計(B)	千円	0	0	800	800	800	800			トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	38,600	50,800	200,800	190,800	⑤活動指標	ア	箇所			10	10	10	10	イ								ウ								⑥対象指標	カ	m ²			20,000	20,000	20,000	20,000	キ								ク								⑦成果指標	サ	個/m ²			20	20	20	20	シ								ス							
		年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)																																																																																																																																																																													
		単位																																																																																																																																																																																			
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円																																																																																																																																																																																		
		都道府県支出金	千円			22,680	30,000	120,000	114,000																																																																																																																																																																												
		地方債	千円																																																																																																																																																																																		
		その他	千円																																																																																																																																																																																		
		一般財源	千円			15,120	20,000	80,000	76,000																																																																																																																																																																												
		事業費計(A)	千円		0	0	37,800	50,000	200,000	190,000																																																																																																																																																																											
人件費	正規職員従事人数	人			2	2	2	2																																																																																																																																																																													
	延べ業務時間	時間			200	200	200	200																																																																																																																																																																													
		人件費計(B)	千円	0	0	800	800	800	800																																																																																																																																																																												
		トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	38,600	50,800	200,800	190,800																																																																																																																																																																												
⑤活動指標	ア	箇所			10	10	10	10																																																																																																																																																																													
	イ																																																																																																																																																																																				
	ウ																																																																																																																																																																																				
⑥対象指標	カ	m ²			20,000	20,000	20,000	20,000																																																																																																																																																																													
	キ																																																																																																																																																																																				
	ク																																																																																																																																																																																				
⑦成果指標	サ	個/m ²			20	20	20	20																																																																																																																																																																													
	シ																																																																																																																																																																																				
	ス																																																																																																																																																																																				

事務事業ID	1563	事務事業名	干潟造成事業
--------	------	-------	--------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	大船渡湾内のアサリ資源の増大や漁場環境の改善を図るための手段のひとつとして、平成24年度に、湾内に一定規模の人工干潟を造成することが可能かどうかを検証するために調査事業を開始した。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	<ul style="list-style-type: none"> 湾内の埋立や橋梁工事が行われることにより、一般市民が自由に潮干狩り(アサリ)を楽しむ場所がなくなった。 市外から、放流用のアサリ稚貝を手に入れることが困難になった。(全国的にアサリ資源が減少している。) 東日本大震災により湾口防波堤が損壊、海岸部が沈下し干潟が水没するなど、湾内の生態環境に変化が生じた可能性がある。湾内環境の再調査が必要と考えられる。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	<ul style="list-style-type: none"> 失われつつある干潟を造成し、漁場環境の改善と湾内資源の回復・増大を図ることを漁業関係者から望まれている。 市内外の一般住民から、潮干狩りシーズンになると、「大船渡市内で潮干狩りができる場所はないか？」という問い合わせが頻繁に寄せられる。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 大船渡湾内のアサリ等漁業資源の増大や漁場環境を改善に向けて、干潟(増殖場)を造成することは、漁業資源の拡大に結びつく。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ ・水産業振興の目的は、安全・安心な水産物を提供することであり、当該事業は、そのための手段として位置づけられることから、行政が行わなければならない。
	③ 対象・意図の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 対象・意図とも現状のままで適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ これまでの調査結果では、造成した干潟は、アサリ漁場として機能していることが示唆されていたが、他にも干潟造成の可能性を検証するための指標となるものはあるものと考えられる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ ・干潟の造成ができないことで、今後の湾内の漁業資源や水質浄化に悪影響が出ると考えられる。 ・湾内環境の再調査を行わずに人工干潟を造成することは、費用対効果の面からもリスクが高い。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ 類似の事業がないことから、他の事業との統廃合・連携はできない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 調査事業は最小限の事業費で事業を実施しており、これ以上の削減はむずかしい。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 業務に要する時間はそれ程多くなく、これ以上の削減はできない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 他の漁場整備の場合にも行政の負担で実施しており、漁協等他に負担を求めることは適当でない。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <ul style="list-style-type: none"> 震災により湾内環境が一変したことから、再度、基礎データの収集をやり直す必要がある。 干潟造成の効果は、漁業資源の確保に加え、湾内の水質環境改善にも効果があることから、本事業は継続して実施していきたい。 									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>東日本大震災により、地域全体が地盤沈下して、干潟が水没している状況であり、今後、大船渡湾内の各施設の復旧状況をみながら、基礎データの収集を初めからやり直す必要がある。</p> <p>増殖場整備は一旦休止とし、再調査を行ったうえで、今後の増殖場整備に向けた方向性を検討していく。このため、整備事業費は減となる。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>●</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	●		×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持	●		×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p> <p>特になし。</p>																						

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	水産課	千葉英彦
-------	-----	------

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい</p> <p><input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない)</p> <p><input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>水質の浄化作用がある干潟の確保は、湾内の水質改善に寄与するものであり、同時に漁場の確保につながるものである。</p> <p>継続して事業実施していきたい。</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>調査設計が完了し、造成工事を実施する。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

<p>(1) 行政経営推進会議等での指摘事項</p>
